

# 市況 峨山 <sup>ー“ゴ”</sup>



拝啓 <sup>フゆリ</sup> 栗花落の候、貴社益々清祥のことと喜び申し上げます。人の目に <sup>と</sup> 留まることの少ない <sup>ク</sup> 栗の花、

その花が落ちる頃が梅雨入りになります。この言葉は古く室町時代から使われているようで、

今更 <sup>今更</sup> アニメ「鬼滅の刃」にも栗花落カナヲというキャラクターが登場します。ただ梅雨の季節であ <sup>(ササキ)</sup>

りながら、朝晩は <sup>今更</sup> ひんやりします。朝方の気温がこの様に低いと、農作物の生育には良くないらしく、

<sup>知の</sup> お百姓さんは心配しておりました。片や、我々鉄鋼業界も、景気を天候 <sup>天候</sup> に例えると <sup>トシ</sup> 工砂降

りの雨 <sup>雨</sup> によって感じ、相変わらず荷動きの悪化は続いています。よって、こういう不景気の時に各社

営業力が問われるものですね。明治時代に橋本 <sup>がエン</sup> 峨山 <sup>がエン</sup> という禅宗の僧侶がこんな問答を

されたそうです。「あなたの母と妻が <sup>目の前の</sup> 池で溺れている。さてどちらを先に救うか？」答は「儒教

思想なら親孝行が大事ならは母か。キリスト思想なら神は最初に夫婦をつくられたならは

妻か。そこで禅的解釈では、近くにいる方から救う。「売上げと利益、僕らはどちらを優先 <sup>(アダムとイブ)</sup>

すべきか、会社がちゃんと示して欲しい。と言われた時、この話を使うことになっている。「どちらか必要

とれる時」といえるものを優先しよう。その場で判断すればいい」と。結局は自動車 <sup>車</sup> の不正に

な。この種の不正が繰り返される事に <sup>ゆり</sup> 憂慮 <sup>憂慮</sup> します。ただ製造に対する規制や検証が雑多

下的で得ていないのではないかと思うところがあります。我々の業界でも提出を求められるシ

ートや各種証明も同様か。「其の政察 <sup>そのせいまつ</sup> たらば、其の民 <sup>そのたみ</sup> 欠々 <sup>ちゆうじん</sup> たり」。この中文の意味は、決 <sup>持</sup> 事

が厳 <sup>するがせに</sup> しく細 <sup>(老子58条)</sup> かいと人は狡 <sup>(中国の文章)</sup> 賢くなること。今後はこれらの規制にこの持 <sup>持</sup> 厳 <sup>持</sup> しく管理するか、

ルールを守るには人のモラルに頼るか、 <sup>心</sup> 将来の国富 <sup>私達は</sup> を思えば、どちらを選ぶべきでしょう。 